

Home Visit Program ～秋の特別な一日～

受け入れ家庭の皆さんにとって、11月23日は勤労感謝の日というよりも「Home Visit」の日。どんな方との出会いがあるかとワクワク、ドキドキ。まずは10時半頃にJR茨木駅でお出迎えです。実は今回、いつものJICA研修員の大人の方々とは違いJDS研修員という大学院生の受け入れとなりました。キルギス、ミャンマー、ネパール、カンボジアからの6名です。滞在期間も修士終了という2年間で基本ですので、長い方は2年後の9月まで日本に滞在されます。「若者」、「長期滞在」という心嬉しい要素も加わり、華やいだ出会いのある茨木駅でした。

2年前より実施している蹴鞠の鑑賞をするために、全員で阿為神社へと車で向かいました。既にまり場ができ上がり、神事が厳かに執り行われていました。いよいよ、蹴鞠奉納の始まりです。8名の蹴鞠保存会の方々が古式ゆかしき御衣装で「アリー！」「ヤー！」「オー！」と鹿皮の鞠を右足甲のみで蹴り続けられます。時々あらぬ方向に飛んでいくのは御愛嬌（失礼！）でした。研修員の方たちはいろんな角度から沢山の写真を撮っていました。その後で、蹴鞠体験の時間。遠慮深い様子ではありましたが、皆さんが体験。キルギスの Erlan さん、お上手でしたね。



さて、各家庭での home visit が始まりました。その様子は各家庭からの感想で覗かせて頂きましょう。



11月23日の祝日に例年通り、JDS研修員さん（大学院生）と1日を過ごすプログラムに参加しました。

阿為神社で古式ゆかしく練り広げられる「蹴鞠」にご案内し、ランチを各家庭で用意します。

阿為神社での蹴鞠は毎年見学させて頂いているので、今回はIIN新会員のK. Y. にお願ひしました。

デモンストレーションの後、キルギスからの Erlan さんとミャンマーからの Mya Mya さんも蹴鞠に参加できて、大喜び

でした。神社からの帰路、道に迷ったところ、Erlanさんのナビにより無事家にたどり着きました?! 摩訶不思議!! 彼は散策が趣味で初めての道も方向感覚が働くようです。

ランチの後、IIN会員のN. K. さんから習字を習い好きな漢字を色紙にして、消しゴムを落款代わりに。これまた楽しんで頂きました。

会話の楽しい彼と、やさしく、良く気をつく彼女のお蔭でゆったり、和やかに過ごした一日でした。方向感覚に優れている彼にMyaさんと私たち3人は京都を案内してもらうことを約束し、また日本滞在中出来る限り楽しい時間を共有しましょう とひとまず茨木駅でお別れしました。 M. N. 記



駅でお会いしたのは、お洒落なミャンマー女性の LinLin さんと穏やかな笑顔のカンボジア男性の Thavann さん。優しいお二人の雰囲気にもまれて、とても安心感をいただきました。お聞きすると、お二人ともに我が娘、息子とほとんど同じ年齢。果たして自分の子供はこんなにしっかりしているだろうかと反省しながら、お二人の



大人な対応に感心しきりでした。家に到着して、お手伝いをお願いしました Y さんと共に昼食の準備。実は今回は減多とない機会でしたので、豚肉を用意しました。気持ちよいほど「ぶたしゃぶ」のお鍋料理に箸が進んでいました。

一服した後、Y さんの書道教室。今までの書道体験は来日後のセンターでの「かな」書きとお聞きしたので、難しいと思われていた漢字に挑戦。お手本の中から選び考えられました。LinLin さんは御自分の名前に由来する「月」とお世話になっている先生とお友達の名前から「山」。Thavann さんは Economic Development という専門分野から選んだ「豊」。意味と味のある作品ができました。



煎茶の温度を変えて味見して頂くと、香りや甘みの変化を感じて頂く事が出来ました。お抹茶が用意できなくても、日本の御茶を楽しんで頂けたかと自己満足。のんびりし過ぎて予定よりも遅れて駅までお送りしました。私が一番好きな時間はこの送りの車内の雰囲気です。ゲストのお二人同士も仲良くなって、こちらもお二人の英語が少しは分かるようになってきて、とにかくリラックス。時に起こる爆笑は、今日一日の締めくりでした。駅の改札で「今日のさようならはお別れではないよ、これからのスタートよ。See you again!」と格好よく決めて？国際交流の集いで再会を約束しました。N 記



ミャンマーの女性 PHYO さんとネパールの男性 KATUWAL PUSPA さんをお迎えました。

ミャンマーの女性はとても優しく、毎日お経を唱えるまじめな仏教徒の方でした。今の日本の若者達とは

くらべものになりません。考えさせられました。『おしん』をTVでずっと見ていて感動し 母親を助けいつもよく手伝っていたそうです。ベジタリアンなので日本での一人暮らしの食事には苦労しているそうで 主食はブロッコリーとトマトであとは豆腐ばかり食べているそうです。そこで、当日は彼女のために野菜一杯のメニューにし、一方ネパールの男性の為に鳥料理をお出ししました。



ネパールの男性は 18 歳で結婚したそ

うです。ネパールでは皆さん早婚です。8 人兄弟姉妹の 5 番目、ネパールの政府機関で勤務し、現在、京都の立命館大学院で勉強中です。



お二人とも茶道に関心がおありで、熱心に説明を聞きつつ、お盆手前の茶道も経験して頂きました。
また、着物を着てもらい近くの稲荷神社へ着物姿でお参りに行ってきました。着物がとても気に入って喜んでくださり、何枚も写真を撮っていました。

受け入れた私達まで心温まる一日を過ごさせて頂きました。二人に心を癒されました。HOME VISITは受け入れる側にもとても楽しい有意義な行事です。日本の現状を反省したり、より深く考えさせられる機会でもありました。

1月の国際交流にもお二人に参加して下さいようお誘いしました。 Y. N. 記

では最後に、参加された大学院生からの感想の一部をご紹介します。

Home stay activity is enjoyable and knowledgeable with making good relations with Japanese people. They are kind, helpful and also friendly to us.

I went to N San's house as a home stay visit. There were lots of activities we did together such as eating Japanese Style lunch together, talking and sharing with our family affairs, writing Calligraphy and enjoying Japanese tea.

We learned Japanese Calligraphy writing with Sensei. Sensei taught us how to write but we practiced again and again. Finally we did it. We could write Japanese kanji!

The tea was very tasty and it smelled sweet. We shared our culture each other drinking Japanese tea. This tea activity was also knowledgeable for me.

Time flies easily!! We have to say good bye. But our friendship never ends. L

I have pleasant time and positive impression for the whole program. It was my first time playing Kemari and it was enjoyable. I have just known that the game is very sacred and historical. Also, I enjoyed the Japanese food so much. We really had a nice time chatting and understanding the differences between our culture, politics and tradition.

I had a fantastic time for the home visit since there was a nice calligraphy session that was interesting. Actually, my major is Economic Development but I have some subjects related to International Studies too. I think it helps me understand Japanese living environment more explicitly with better scenario of Japanese lifestyle.

The memorable event yesterday will be kept in my memory. Thank you very much!!! T